

茶の湯文化講座



『妹千世姫にあてた前田利長の手紙』

千利休が活躍した戦国から安土桃山時代にかけて、「茶の湯」が大いに広まり、戦いに明け暮れた武将たちも茶の湯をこよなく愛したと言われています。

彼らはなぜ茶の湯に魅せられたのでしょうか？

今回は、前田利家のあとを継いだ加賀藩主前田利長が、妹の千世姫にあてた手紙から当時の時代背景を読み解きます。

日 時 令和3年3月7日（日）午後1時30分～午後3時30分

※終了後、質疑応答あり

場 所 碧南市哲学たいけん村無我苑

研修道場「安吾館」

講 師 増田 孝 氏 （愛知東邦大学客員教授）

定 員 28名（先着順）

受講料 1,500円（無我苑呈茶券1枚付き）

お申込み 令和3年1月30日（土）

午前10時より電話にて受付。

受講料は1週間以内に無我苑瞑想回廊事務室へ



講師紹介

増田 孝（ますだ たかし）

1948年千葉県生まれ。
書跡史研究家。博士（文学）。
現在愛知東邦大学客員教授。

書の鑑定家として

テレビ東京の人気番組

「開運！なんでも鑑定団」で
活躍中！

※村民先行予約（電話受付）

1月23日（土）午前10時～

1月29日（金）午後5時まで

- ・お申込みは1人2名様分までです。
- ※ただし、村民先行予約では村民ご本人様のみのお申込みとなります。
- ・お支払いいただいた受講料は、キャンセルされても払い戻しできません。

最新情報はこちら⇒

